

学籍番号	81533503	氏名	本村 浩一
論文題目: 現地調査とアンケート分析による高齢者における不安の分析			
<p>(内容の要旨)</p> <p>平成 24(2012)年の介護保険制度改正では, 今後の介護や医療サービス需要の増加をふまえ, 統合的な提供システムである「地域包括ケアシステム」の構築が明言された。これを受けて, 重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう, 住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステムを自治体主導で構築している。</p> <p>そこで本研究では, 高齢者の日常生活の不安に影響を与える要因と構造を明らかにすることにより, 地域包括ケアシステムで提供される支援・サービスが何に重点を置くべきかを明らかにする。研究は, 地域における事前インタビュー, インターネット調査による全国アンケート調査, 統計分析という流れで行った。</p> <p>統計分析の結果, 以下のことが示唆された。</p> <p>「病気」は「不安」に対して直接影響を与えていると同時に「幸福感」を通じて間接的にも影響を与えているため, 「病気」が「不安」に与える影響は大きい。</p> <p>「病気」を除けば「不安」に直接影響を与えているのは現在の「幸福感」である。</p> <p>「暮らし向き」, 「外的交流」は「幸福感」を通して間接的に「不安」に影響を与えている。従って, 地域包括ケアシステムで提供する支援・サービスは介入可能性の高い「外的交流」, 「病気」に効果的に介入する施策が高齢者の不安低減に寄与すると考えられる。</p>			